

ウェブ対戦による明トラ大会

明トラプロジェクト検討小委員会委員長

明専会副会長 石橋 一郎(制56)



【明専トランプができるサイト】

今年3月、明専会総会に合わせた「明トラ大会」イベントを初めて実施致しました。詳しくは本号掲載の木原さんの別稿をご覧ください。

さて、コロナの猛威が依然として続いていることもあり、今年ウェブ対戦による明トラ大会を実施いたします。「おっ！ インターネット

対戦版ソフトが完成したのか？」と思われた方がいらつしやるかもしれませんが、実はネット対戦が可能なサイトがあることを発見したのです。

今回はその実際のゲーム方法の紹介と、そのサイトとウェブ会議システムを使った明トラ大会の企画案の紹介をいたします。

コンピュータとの対戦ではなく、4人がウェブ上で、明トラをするのですから、必要なトランプカード(41枚)を配ったり、手に持ったり(自分の手札は自分だけが見える)、場に出し合ったり(場に出したカードは他者も見える)する作業がパソコン画面上でできればよいわけです。

そのようなことができる個人(欧米の方)のサイト(無料)がありました。そのサイトは画面などのカスタマイズも可能で、どうにか明トラ用を作ることができました。

ただし、このゲームシステムには、プレイヤー間のコミュニケーションをとる手段がありません。そこで、各プレイヤーはPCにこのゲーム画面を立ち上げるとともに、別のコミュニケーションツール(Zoomなどのウェブ会議システム)を立ち上げて、つまりPC上に複数画面を立ち上げてプレイすることになります。



ウェブ対戦ゲームの画面
(デザイン等は変更される可能性があります。)

以下の説明ではコミュニケーションツールはZoomと表記しています。なお、OSやブラウザによってうまく表示できないものもあるようです。

- ① 吹き上げの人はリアルに「ジャンケン」で決めても良いですが、ゲーム画面にルーレットを置いてあるのでこれを使うことも可能です。
- ② プレイヤーの誰かが「配る」をクリックします。するとカードが各自の「出し場」に10枚と「アガリ」に1枚残ります。
- ③ 各プレイヤーは、配られたカードの左上横に表記されている「⑩」の部分をクリックしたまま自分の「手札場」(PC画面の一番下)に持ってくると自動的に表にひっくり返ります。⑩の部分でないと一枚ずつ取ってくることになりませんので時間がかかります。
- ④ 「吹き」はZoomで行ってください。また、最終的に親が決まった段階でマークと吹き数を表示するツールも作っています。なお、ブローケンできる場合は、手札を開示する必要がありますが、そのときは、取札置き場①〜⑩に並べて開示します。

⑤ 親は「アガリ」から1枚取ってきて、不要の1枚を「ネグリ札置場」に戻します。自動的に裏面になるので操作は、手札場で選択したカードを左クリックしたまま持つて行って(ドラッグして)、クリックを離せば伏せておけます。

⑥ 出し札は各自が各自の「手札場」から出したい1枚を左クリックしたまま各自の「出し場」へ持ってきます。それだけではカードは裏面になっていますので、「出し場」でクリックして表面にひっくり返します。

⑦ 4人が出し終われば勝った人は「取り札置き場」(第10回まで作っています)のボタンをクリックすると、そこに取り札が自動回収されます。最後に自分のペグをその上に置きます。これによって誰が勝者だったのかが分かります。

⑧ 勝ったチームの人は、その「取り札置き場」のカードを自分の「手札場」に持ってくれば見る事ができます。もちろん見た後は元の場所に戻します。ちなみに、ローカル・ルールでは見えないかとしてあるものもあるようですが、正式ルールは取ったチームは見えて

よいことになっています。

⑨ 試合が終われば、ペグを自分近くの場所に戻します。各チームの得点もリアルのやり方と同じように、2〜4のカードを使って表示できます。クリックすると裏面になります(裏面が0.5点)。

⑩ カードの回収は、「Recall & Shuffle」をクリックします。なおブローケン時のように手札が残ったまま回収するときは、再度クリックすると手札も回収するかと聞いてくるので「OK」をクリックすると回収されます。

【明トラ大会について】

●オンライン明トラ体験会

日時：8月9日(山の日振替休日)
10時〜17時

最大100人規模を想定した「初めて明トラをやってみよう会」です。皆さん誘い合ってご参加ください。全くの初心者で指導希望者には指導者をつけまますし、観戦だけでも可能です。

ただし、Zoom会議に接続でき、前出の対戦ウェブサイトにも接続できることが参加条件となります。Zoomは本屋のPCコーナーに行くのと多数の入門書も並んでいます。初

めての方は事前にご準備をお願いいたします。

おひとりご参加の場合も、ペアを組みたい相手があれば希望を優先します。詳細は6月末までには、明専会ホームページに掲載する予定です。

●ゲームURLの貸し出し

この体験会の実施後は、明トラオンライン対戦室(URL)を日時・時間帯を指定して貸し出しも行います。お友達同士での対戦・練習・支部での大会等にご活用ください。

●明トラ選手権大会(仮称)予選

11月以降、2回に分けてオンラインで実施する予定です。コロナ禍もあり、地区別ではなく、自由なチーム(東京支部の人と福岡支部の人が組んでも良い)での参加を認めます。一人での参加の場合、主催者側でペアを決めます。日程の都合の付く日に参加ください。

●明トラ選手権大会(仮称)決勝戦

予選の上位4チームにて決勝戦を3月上旬までには実施します。3月19日の明専会総会では大会の様子の報告と表彰式を行う予定です。

予選大会、決勝大会も詳細が決まり次第、明専会HPに掲載します。

ご期待ください。

全国明トラ大会決勝戦 デモンストレーションの開催について

明トラプロジェクト検討小委員会 委員

理事 木原 義幸(開58)



「明トラPJ検討小委員会」

2019年12月7日開催の第23回通常理事会において、明トラを楽しむ機会と会員を増やすことで同窓の絆を強化するため、「明トラプロジェクト検討小委員会」が立ち上がりました。この取り組みの一つとして、2022年の総会において「全国明トラ大会」の開催を目指すこととなりました。

石橋副会長が委員長、竹林理事、永松常務理事、そして私が委員となりました。加えて、従来から明トラの普及・伝承に取り組んでいる「明トラ伝承プロジェクト」のメンバーにも協力を求め、毎月第1日曜日の定例ミーティング（当初はSkype

最近はZoomを利用）の際に、アドバイスを受けることにいたしました。全国大会と言っても、参加者全員が一堂に会するのは現実的ではありません。

「コロナ禍を逆手に」

そのような中、2020年1月末頃から新型コロナウイルスが日本でも蔓延し始め、3月に全国を対象に緊急事態宣言が出され、外出や旅行、会議・会合の自粛が要請されました。定時社員総会もほとんどの代議員が委任状を提出して、少人数で開催する運びとなりました。

その一方で、在宅勤務やリモート会議が急速に拡大し、それらを支えるZoom等のオンライン会議サービスや、スマートフォンをパソコンのウェブカメラとして使えるようになるアプリ等も普及・発展しました。

明トラ決勝戦もZoomの各種機能やライブ配信機能を使えば、当初想定していたよりも簡単に安価に実施できる見通しが高まってきました。

「現地での試験等」

緊急事態宣言解除中の2020年10月10日、総会が百周年中村記念館で開催されることを想定し、北九州支部有志が各自のスマートフォンとパソコンを持ち寄って、Zoomによる撮影画面の集約、ライブ配信が可

2021年3月20日、第9回定時社員総会の終了後、全国明トラ大会の決勝戦を模した明トラ対戦を行いました。対戦の様子は、対戦している場所とは別の総会会場で放映して解説を行い、さらにはネットライブ配信を行う、「将棋の対局中継」を目指しました。本稿では、「開催に至った経緯や準備、決勝大会の様子は、ライブ配信の方法等についてご報告いたします。

が一堂に会するのは現実的ではあり

能かを確認いたしました。

その後、総会が北九州国際会議場で行われることとなったことから、11月16日、事務局と石橋委員長とともに、総会会場と明トラ対戦会場の備品や映写機器、インターネット環境を確認しました。

それを基に実施計画を再検討し、3月4日改めて国際会議場に赴き、実際に近い備品配置と機器によりライブ配信と総会会場での映像の視認性を検証し、本番で実現できることを確認いたしました。

一方、プレイヤーの手持ちカードをブレずに撮影できるように、明トラ伝承PJの藤井さんにトランプ立てを手作りしていただきました。

また、決勝戦を模していることから、表彰式も行うこととして、表彰状や優勝カップも準備しました。なお、優勝カップは、経費節減のため旧小倉支部の明トラ大会や工大祭記念明トラ大会で使っているものを転用したものです。本番では、新しいものを準備しましょう。

【机口の準備】

当日は、準備を万全にするため、ス

タッフは9時に集合しました。総会会場ではZoomホストとFacebookライブ配信準備、司会と解説者が入念な打ち合わせを行いました。プレイルームでは、手持ちカードを撮影するためのトランプ立てとスマホ、場の状況を記録するためのビデオカメラ、これらを配信するためのLANやパソコンなどをセッティングして、配信テストを行いました。

【いよいよ本番】

定時社員総会が予定通りに終了し、機器の最終調整を行い、いよいよ本番を迎えました。

大会は、開会式、プレイヤー・スタッフ紹介、ルール説明、デモ決勝戦、表彰式、そして高原会長による講評と進めることとしました。

しかし、プレイルームではカードを拡大撮影するスマホとパソコンとの無線LANの接続が切れて総会会場に画像が送れなくなったり、Facebookライブで配信できなかつたり、トラブルが発生し、スタッフは冷や汗のかき通しでした。

そのような中、司会の藤井さんとプレイルームレポーターの佐田さん

とが連携して、手持ちや場のカードを拡大撮影したり、ゲーム終了後にプレイヤーにインタビューしたりと臨機応変の対応で、観戦会場へ最低限の情報提供はでき、ゲームもゆつくりとではありますが着実に進んでいきました。

一方、総会会場では司会の藤井さんが、進行状況に照らしたルールを説明しながら、3人の解説者それぞれ異なった見解を引き出して、状況認識やプレイヤーの性格と対面の気持ち等を察する洞察力でカードの出し方が異なるという明トラの面白さが再認識できるものとなりました。

高原会長からは「今回の取り組みで、ルールやプレイ方法が良く分かった。もう少し画像や説明を工夫すれば、明トラの普及が進みそうだ」とのお言葉をいただきました。

当日の様子は、石橋副会長が当日ライブ配信予定だったZoom画像を、南八幡分会長がダイジェスト版とルール解説版、「場」のノーカット版を、Facebookグループ「明専会 AllMembers」にアップしていただきます。

【結び】

今回は、明トラをする場所とは離れた場所でも、プレイ画面を見ながら解説することで、ルールや作戦を理解していただくという当初の目的は一応達成できたと考えています。これも開催実行にご協力いただいた明専会事務局、プレイヤー・スタッフをはじめとする明専会会員の皆様、様々なアイデアとアドバイスをいただいた明トラ伝承プロジェクトの皆様のおかげです。

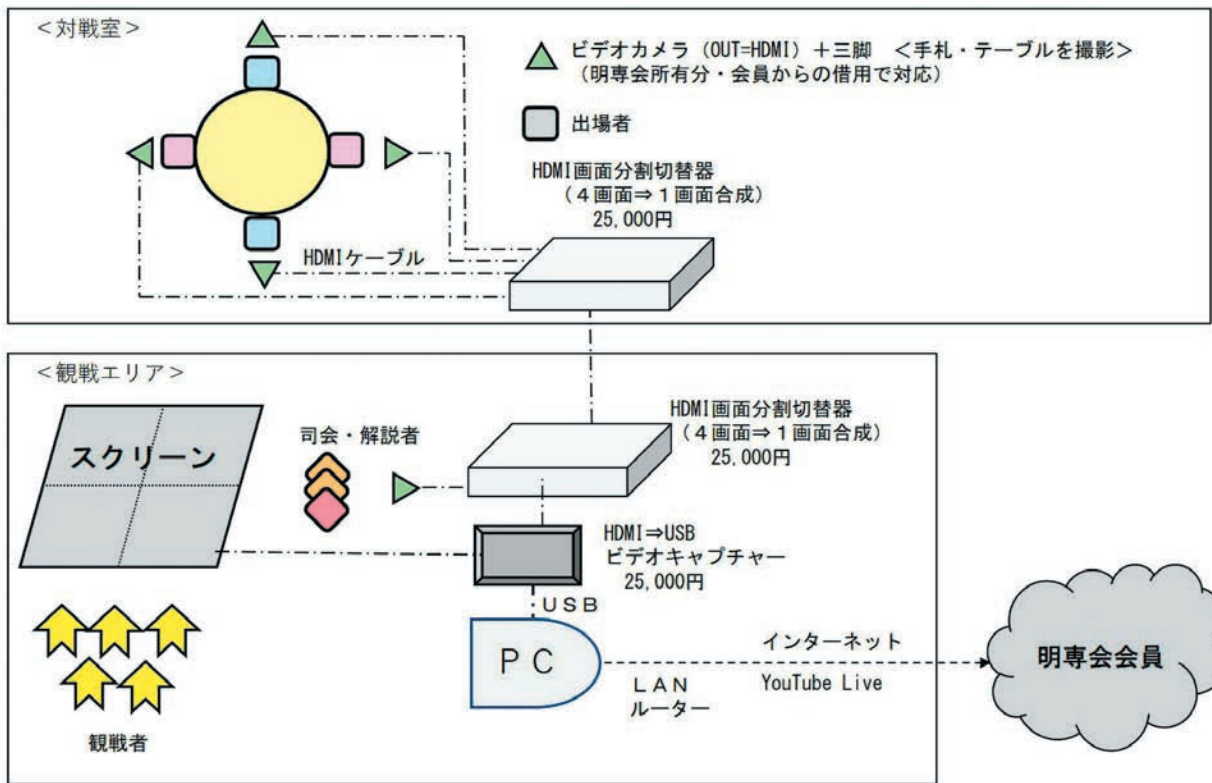
そして、石橋副会長と私は、この取り組みを通じてパソコンやリモート会議、ライブ配信にかなり詳しくなり、仕事にも役立っています。

しかし、機器間通信の確実性向上や、より見やすい画面の設定など、課題が浮き彫りになりました。今後これらの改善を図るべく検討を進めたいと考えています。

今後とも、九州工大の伝統・明トラを通じて、親睦を深めていきたいと思います。「いや、明トラって本当に楽しいですネッ」。

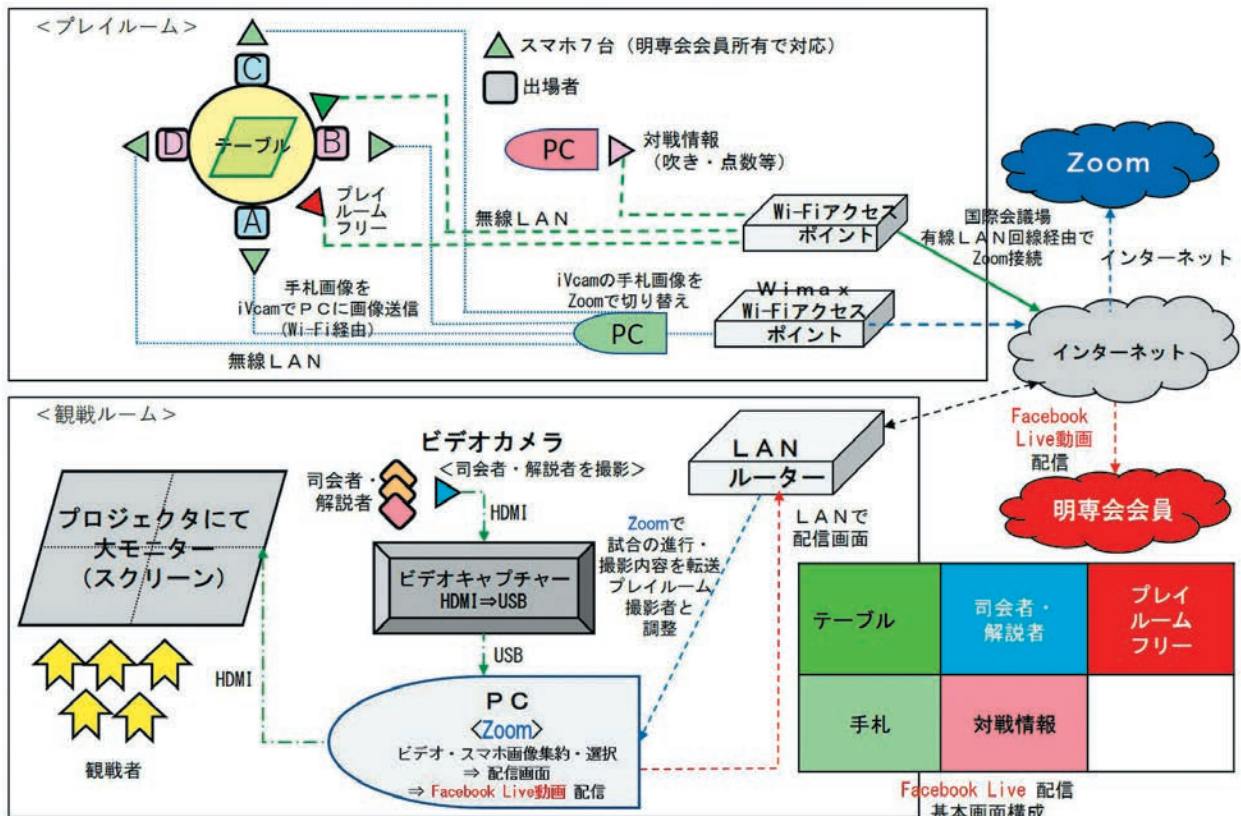
(木原義幸 北九州市役所港湾空港局港湾整備部 主幹)

全国大会決勝戦のライブ配信のイメージ



全国大会決勝戦のライブ配信のイメージ

<Ver.5.1 国際会議場有線LAN スマホ & Zoom & Facebook Live動画 利用>



▲ライブ配信計画の当初・新型コロナ前(上)と実施(下)
ZoomとiVcam(スマホをPCのウェブカメラ化するアプリ)の活用で費用節減へ

特集：明専トランプ



▲百周年中村記念館でのテスト



▲ルール説明中の司会の藤井さん(左)と手作りのトランプ立て



▲映像操作中の石橋副会長



▲観戦ルームで映像を見ながら解説



▲プレイヤーと(左)とプレイ中の様子(右)



▲プレイルームのスタッフ



▲トランプを接写する佐田レポーター(左)と観戦ルームの画像(右)



▲プレイルームの情報を配信中の押川さん(奥)と木原(手前)



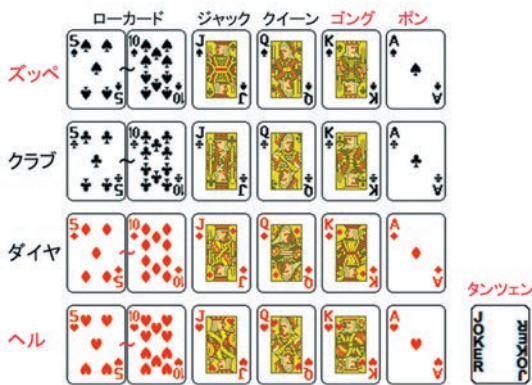
▲表彰式(左)と講評する高原会長(右)



〈大会関係者〉 ※敬称略 (役割) [支部・分会]

中島 (解説) [東京]
 植木 (解説) [小倉]
 新宅 (企画、解説) [大阪・明トラ PJ]
 牟田 (プレイヤー) [福岡]
 福島 (プレイヤー) [佐賀]
 葛島 (プレイヤー) [小倉]
 池田 (プレイヤー) [小倉]
 藤井 (司会) [宗像・明トラ PJ]
 佐田 (プレイルームレポーター) [戸畑]

有永 (プレイ進行サポート) [小倉]
 南 (ビデオ撮影) [八幡]
 押川 (対戦情報入力・配信) [戸畑]
 橋本 (企画) [東京・明トラ PJ]
 早尻 (企画) [神戸・明トラ PJ]
 石橋 (企画、映像操作、観戦会場総括) [八幡]
 竹林 (写真撮影) [東京・明トラ PJ]
 木原 (企画、映像操作、プレイルーム総括)
 [小倉・明トラ PJ]



明トラでは、カードのスーツなどで呼び方が独特なものがあります

使用するカードは、それぞれのスーツ（マーク）の5からK（ゴング）とA（ボン）、JOKER（タンツェン）の41枚。これらをシャッフルし、各人に1枚ずつ10枚を伏せて配り、最後の1枚（「あがり札」）を場の中央に伏せて置きます。プレーヤーは、自分のカードだけを見ることができません。

明トラでは、左の図のように独自のトランプの呼び方をします。

吹く

どのマークを切り札にして自分と対面と合わせて何組取るかをせり宣言することを吹くといえます。

最初に吹く人を吹きはじめといい、左回りに4人目の吹き上げまで順番に吹きます。吹かない人は、パスを宣言します。

初回は吹き上げが決まっていなくて、じゃんけんで決めます。「じゃんけんシュツシュ」のかけ声で、最初「シュツ」はグー、次の「シュ」でグー・チョキ・パーのいずれかを出します。あいこのときは、「シュ」を続けます。一番勝った人が吹き上げとなり、その右隣の人が初回の吹きはじめになります。なお、10組出し終わった次の回の吹きはじめは今回の右隣の人になります。

吹きは、スーツに続けて組数で宣言します。例えば、ヘル（ハート）を切り札にして6組取るときは「ヘル6」と言います。吹ける組数は6以上で多いほど大きくなります。同じ組数でもスーツがズツペ（スペード）→クラブ→ダイヤ→ヘル→トラ（マークなし）の順に大きいことになっていきます。吹きはじめから左回りに順に吹きますが、宣言できるのはこの回の他の人の吹きよりも「大きい吹き」か「パス」しかできません。せり勝った人のスーツが今回の切り札になります。

例）ヘル6を誰かが吹いた後にクラブ6は吹けません。また、10組取る宣言を特にスラミと呼びます。

ブロークン

手札が左の表の条件の場合は、吹くときにブロークンを宣言し、シャッフルからやりなおすことができます。任意なので、吹いたりパスしたりすることもできます。

ブロークンを宣言できる条件

- ローカードのみ
- ローカードとQが1枚のみ
- ローカードとJOKERのみ
- ローカードとQが1枚とJOKERのみ

※ローカードとは数字が5から10のカード。

ただし、吹くとき、またはあがり札を取ったときに手札にJ（ジャック）が4枚あるときは、フォージャックといい、必ずブロークンを宣言しなくてはなりません。

カードの強さ

吹いたスーツのJ（ジャック）を正J（せいジャック）、同じ色の違うスーツ（ズツペならクラブ、ヘルならダイヤ）を裏のスーツ、単に「裏（うら）」と言います。

切り札は、宣言したスーツのカード10枚と裏J（裏ジャック）とJOKER（タンツェン）の計12枚です。切り札の強さは、弱い方から5↓6↓7↓8↓9↓10↓Q↓K（ゴング）↓A（ボン）↓裏J↓正J↓JOKERの順となります。切り札のスーツを宣言しないときは、トラといい、このときは、切り札はJOKERだけです。切り札でないスーツは、5からK、Aの順に強くなります。（10枚ですが、裏のスーツは裏Jが切り札となり、残りの9枚です。）

あがり札とねぐり札

せりで勝った人は、この回の最初の親になります。中央にあるあがり札を自分の手に入れ、必ず、不要なカード1枚を手前に伏せて置きます（「ねぐり札」）。これは、他の人が見ることはできません。

10組を回す場

親は、場の中央付近に1枚目のカードを出します。何でも出せます。2人目から4人目は、左回りに1枚ずつカードを出します。

○親が出したカードと同じスーツを持つてるとき

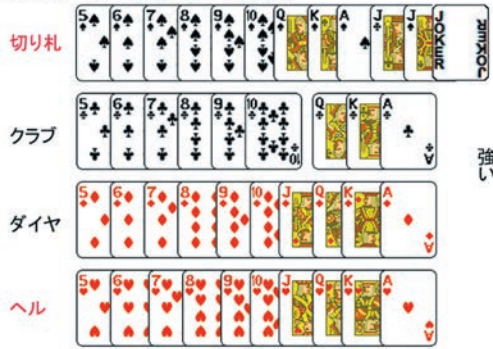
必ず同じスーツのカードを出さなくてはなりません。ただし、JOKERはいつでも出せます。裏JとJOKERは切り札のスーツとして扱います。

※繰り返しになりますが、裏Jは同じスーツに含まれません。

○親の出したカードと同じスーツがないとき（切れている）

どのカードでも出せます。切り札

例)切りがズッペの時のカードの分類



切り札がズッペのとき、クラブのJはクラブではなく切り札として扱われる

も出せます。

場に出た4枚の中で1枚目のスーツの大きいカードが強いのですが、切り札が出ていれば、切り札が強くなります。

一番強いカードを出した人が、4枚を揃えて伏せて手元に置きます。これを（1組）入ると言います。この人が次の組の親になります。

明トラの定石

○切り追い

吹いた側が親のときは、2回は1枚目に切り札を出して相手の切り札を減らし、場の状況から全体の切り札の配置を予想する。

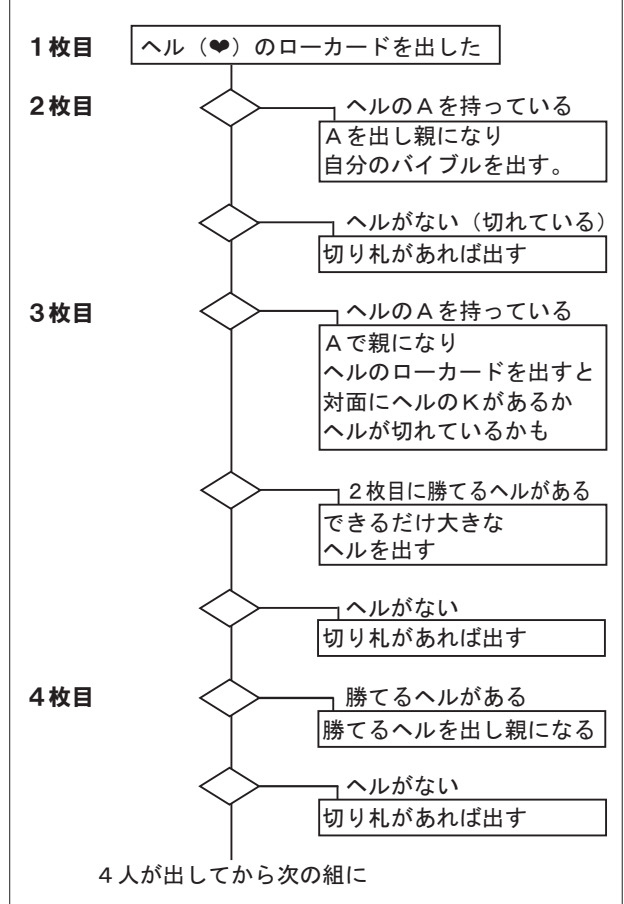
○ローK（ゴング）

親がローを出したら、あとの人はそのスーツのマックス（この場合、A（ボン）があれば出す。なければローを出す。3番目の人は親がKを持っているかもしれないので、手持ちのマックスを出して、4番目のAを誘導する。3番目がここでローを出すと、4番目がA以外で取ってしまい、次の組でAを出されて2組とも取られてしまうことになる。

○ローにはロー

切り追いがローカードの時は、2

3組目の例（吹きがズッペ7のとき）



人目もローカードを出した方が4人目の1枚しかない強いカードとの相殺を避けられる可能性がある。

○恥部処理（弱点の処理）

親の出したスーツがないときに、手札の中の数が少ないスーツをネグ（出す）こと。少ないスーツをなくし、そのスーツが出たときに切り札を出せるようにできる。

○吹き手にボンなし

吹いた人は、吹いたスーツのAを持つていないことが多い。

○バイブル

Aなど切り札でない強いカード。サイドに切り札がないときやロー

カードを持っているときに得点につながる。対面がバイブルを出しているときは、ローカードをネグするチャンスになる。ただし、親がバイブルのスーツを出さないと、無駄になる。

○意思表示

親の出したスーツがないときに、切り札を出さずに自分のバイブルがあるスーツのローカードをネグって、対面に無言で要求すること。伝わらないこともある。

JOKER（タンシエン）の特例

JOKERを出すことを「踊る」といいます。タンシエンの語源は、カー

ドのピエロが踊っているからです。

手札の JOKER は 9 組目までに必ず出さないといけません。9 組目を特にタンツェン場、またはツェン場と言います。10 組目に（最後の 1 枚で）出してはいけません。

親が JOKER を出すときは、スーツを口頭で指定できます。

例) 切り追い（切り札を出してください）、ヘル追い（ハートを出してください）

JOKER は、親が出したスーツを持っていても、自分の順番で出すことができます。

例) K を持っているときに、サイドから同じスーツの A が出たら、自分のときに JOKER を出して、親になり、次の組で K を出す。

JOKER のよくある質問

Q) 親が切り札を出したとき（＝切り追い）、自分の手持ちの切り札は JOKER しかありません。

A) 自分の順番で JOKER を出さなくてはなりません。

チヨンボ（違反行為）

違反行為を指摘されると、相手チームに 5 点の得点となります。

○ ねぐり忘れ

ねぐり札を捨て忘れた。最後に 1 枚余るミス。

○ 親のスーツを出さない

親の出したカードと同じスーツのカードがあるのに出さなかった。

例) 切り追いで、裏 J や JOKER を出し忘れた。

例) ヘルが切り札でダイヤの回しるときダイヤの A があるのにダイヤ

J（＝切り札）を出した。

○ フォージャック
フォージャックなのにブロークンを宣言しなかった。

○ 最後の 1 枚が JOKER
タンツェン場で JOKER を出さなかった。

○ 間違った宣言
ブロークンじゃないのにブロークンを宣言した。

○ オープンを宣言（自分の手札で残りのすべてが取れる宣言）したが、出し方によっては相手に取られることが指摘された。

○ 不正行為

他の人が出すカードを口頭で指示する。自分のカードをわざとちらつかせる。ねぐり札を 1 組目の親以外が見た。サイドの取ったカードを見る

た（自分と対面が取ったカードは見えない）。

得点の計算

10 組を出し、全員の手元にカードがなくなったとき、点数を付けます。

○ 吹いた組数以上入ったときは吹いたチームが得点

（吹いた数 - 5） + 超えた組数 × 0.5

例) 7 吹いて 8 組入れば 2.5 点

○ 入らなかったときは、足りない組数を相手チームが得点

例) 7 吹いて 5 組入れば相手チームに 2 点

17 点以上になった側が勝ちで、ゲームセット。

得点しなかったペアの一人がシャッフルしゲームを続けます。

次の回の吹きはじめは今回の右隣の人です。

点数表示方法

ゲームに使わない 2 ～ 4 の同じ色のカードを使って表します。伏せたものを 0.5 点として両サイドのひとりの近くに置きます。10 点以上は、1 の位だけを表示します（＝フラグが立つ）。フラグが立ったときは裏のスーツを使うこともあります。

さあ 明トラを覚えよう
そして、戦おう！

私の拙文では、楽しい明トラが伝わらなかつたり、難しく見えたりしたかもしれません。しかし、過去の明トラ大会では小学生も参加し、楽しむことができました。数十年の年代を超えて、学生、OB、各団体などが入り混じってのゲームを楽しみませんか。

点数表示方法

ゲームに使わない 2～4 の同じ色のカードを使って表します。伏せたものを 0.5 点として両サイドのひとりの近くに置きます。



10 点以上は、1 の位だけを表示します。＝フラグが立つ

フラグが立ったときは裏のマークを使うこともあります。